

everlasting

For adult only

mechi

Contents

risky	3
もつれた種	25
まだ名前のない、天使と悪魔のお話	46
傷心	89
わるいゆめ	98
a bit faster	116
千夜一夜物語	138
トリガー	167
everlasting	185

このたびは、当同人誌を
お手にとっていただき、誠にありがとうございました。
お手に取って読みたいと思っていただき、ありがとうございます。

この本は、2020年に発行した同人誌を受注頒布用に整えたものです。
お楽しみいただけましたら幸いです。

risky

「この天使を始末しろ」

蠅の王ことベルゼブブ様がつまらなそうにぴらつと俺とアジラフェルが並んで写ってる写真をこちらに見せた時、こいつら頭がおかしいなと思つた。

とつさに「どうして」と声にならなかつたのは、その瞬時に喉が干からびてたからだ。

何度かツバを飲み込んで、何食わぬ顔を装つて蠅王様の顔を直視した俺は顔面蒼白だつたと思うが、地獄のオフィスは薄暗いから、なんとか気づかれなかつたろうと思う。

「どうしてそいつを消す必要があるんですか？ 天国と戦争でも引きこす気ですか？」

「まさか、そんなつもりはない。これまでよりほんのちよつと、地上を悪に染めやすくするだけだ。」

「でも、天使が一人消えたらあつちだつてさすがに放つておかないし、すぐにこつちの仕業だと気づくでしょう…」

「しらを切るさ」

「安易すぎます、本当に戦争になりますよ！ 預言通り、戦争はハルマゲドンが起きるまで待つべきだ…」

「どうしてそう嫌がる？」「嫌がつちやいません！ そんな簡単に敵側を刺激るべきじゃないと：盟主様の命令ならともかく——」

「サタンはあらゆる悪事を喜んでくださるさ」「たかが天使一人消したつて、ほんのちよつとロンドンに悪がはびこりやすくなるだけだ——」

「たかが天使一人だ、だから構わないだろう？ この写真、どう見てもお前が向こうに寝返つてるようにしか見えない。それでもないならこの天使を消して、お前の忠誠を示してみろ。」

「スパイしてるんですよ…！ 俺はその天使を出し抜いて——」

「要件は以上だ、さつさと行け」

横から口を挟んで俺を追い払つたハスターの面をぶん殴つてやりたいのをこらえて、回れ右した。

話が通じる連中じゃないのは嫌というほど知つてた。